

資本市場の開放により 底上げが期待される中国株式市場

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

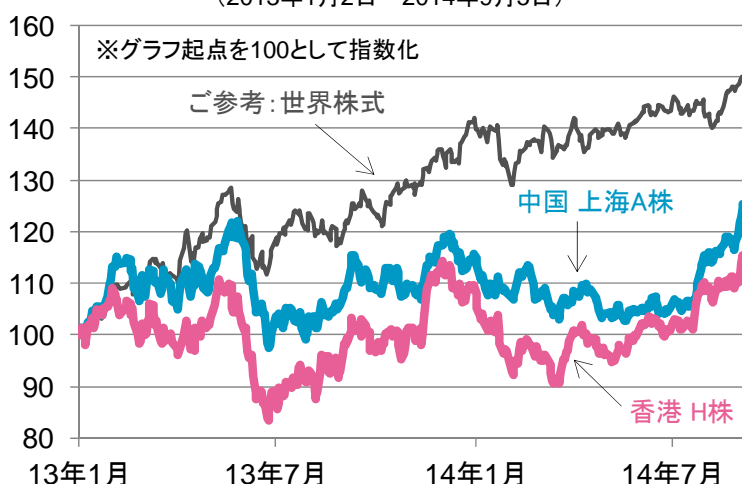
中国では、中国本土の上海と深セン、および香港に3つの株式市場が存在し、それぞれ投資が認められている投資家や上場企業などに違いがあります。上海市場と深セン市場では、中国本土で登記される中国企業が上場しており、その株式にはA株とB株があります。A株の取引は、中国本土内の投資家、および特定の条件を満たした国外機関投資家に限られており、現在、海外の一般投資家による取引は認められていませんが、B株の取引は、中国本土内の投資家に加え、一般投資家を含む海外投資家にも認められています。一方、香港市場は、一般投資家を含む国内外全ての投資家による取引が可能となっており、また香港や中国本土、更には海外で事業を展開する企業による株式の上場も認められていることから、中国本土よりも開かれた市場とされています。

中国では近年、資本市場の活性化を目的とした制度を積極的に導入する動きが見られ、10月には、上海市場と香港市場において株式取引の相互乗り入れ制度が開始される模様です。一日当たり投資額に上限が設けられるなどの制限があるものの、香港を含む海外投資家は香港市場経由で上海上場株を、中国本土の投資家は上海市場経由で香港上場株を、それぞれ売買することが可能になり、両市場間における投資資金の行き来が実現することから、同制度は「直通列車」と称されています。これにより、これまで認められていなかった、海外の一般投資家による中国A株への直接投資が、香港市場経由で可能となります。

足元では、更なる資本市場の活性化に向けた改革のひとつとして、深セン市場と香港市場の株式取引の相互乗り入れ制度の導入も検討されています。ここ数年、世界株式市場が堅調に推移する一方、中国株式市場は、同国の景気減速懸念などに伴ない低迷が続いていましたが、今後は同国の景気持ち直しに加え、中国本土の市場開放への取り組みにより、海外から中国株式市場への資金流入が増加し、相場の追い風になると期待されています。

中国株式の推移

(2013年1月2日～2014年9月5日)

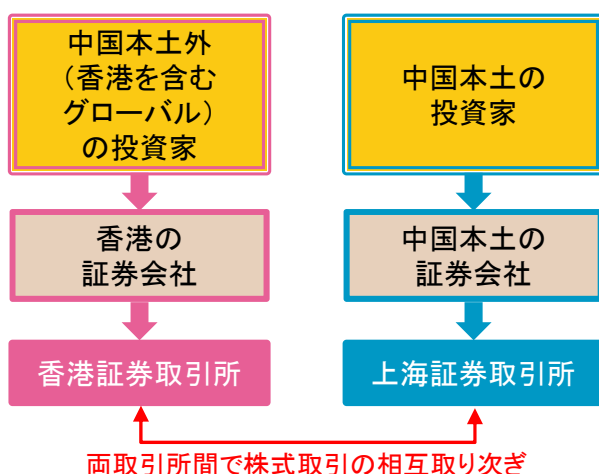


※中国 上海A株: 中国 上海A株指数、香港 H株: ハンセン中国企業株指数(H株)、

世界株式: MSCI AC ワールド・インデックス。全て円換算ベース。(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

(ご参考)上海と香港の株式市場の 相互乗り入れ制度のイメージ



※上記はイメージです。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。